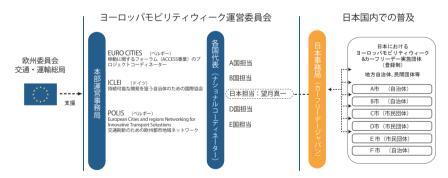
### ■世界での取組みと経緯

実施年	プロジェクト名称	参加都市数			海外
失肥平			カーフリ		/agr 21-
1997	車のない日	300	1	-	ラ・ロッシェル (仏)
1998	街では車を使わない日	¥	34	-	フランス34都市
1999	街では車を使わない日	50	164	-	仏以外:イタリア92、ジュネーブ1
2000	カーフリーデー	1	758	504	EUのプロジェクトとして世界に広まる
2001	カーフリーデー	****	996	481	EU以外の他都市が参加

ヨーロッパモビリティウィーク 参加都市数 (2022) 2,989都市

		I	
実施年	参加都市数	海外	■ 内
2002	1, 717	ヨーロッパモビリティウィークの開始	
2003	1. 489	アジアからも参加 (台湾)	
2004	1. 541	仏では臨策の恒常化を狙う取組に変化。	支援都市3市が初参加。(横浜市・松本市・名古屋市)
2005	1. 693	仏「Bougez Autrement(これまでと異なる 交通行動を)」に方向転換。施策の恒常化 を前提とする交通週間へ。	支援都市5市参加。(鎌立市・横浜市・松本市・名古屋市・姫路市)
2006	1. 865		支援都市3市が参加。 (構浜市・松本市・名古屋市)
2007	2.014		5市が参加。(さいたま市・横浜市・松本市・名古屋市・福井市・湘覇市)
2008	2. 091		7市が参加。(さいたま市・横浜市・松本市・名古屋市・福井市・高松市・即覇市)
2009	2. 174		9市が参加。(春日郎市・さいたま市・横浜市・道子市・松本市・名古屋市・福井市・高松市・影響市)
2010	2, 209		9市が参加。(仙台市・春日郎市・さいたま市・横浜市・逗子市・松本市・福井市・高松市・郑覇市)
2011	2, 254	アメリカ合衆国初参加。	8市が参加。(仙台市・さいだま市・横浜市・遠子市・松本市・福井市・高松市・部覇市)
2012	2. 143	トルコ共和国初参加。	10市が参加。(仙台市・さいたま市・横浜市・道子市・松本市・富山市・福井市・大阪市・高松市・影響市)
2013	1. 919	ベトナム、ロシア、アンドラ初参加。	13市が参加。(仙台市・さいたま市・横浜市・逗子市・松本市・富山市・福井市・豊橋市・大阪市・京都市・高松市・福陽市・郑覇市)
2014	1. 997	マルタ共和国初参加。	11市が参加。(仙台市・さいたま市・横浜市・道子市・松本市・福井市・豊橋市・大阪市・京都市・高松市・郑覇市)
2015	1. 852	ベルラーシ共和国初参加。	10市が参加。(仙台市・さいたま市・横浜市・松本市・福井市・豊橋市・大阪市・京都市・高松市・部裏市)
2016	2. 397	メキシコ、マリ共和国等、4カ国初参加。	11市が参加。(仙台市・さいたま市・横浜市・道子市・松本市・福井市・豊橋市・大阪市・京都市・高松市・部覇市)
2017	2, 512	計50カ国参加、新規参加国なし	12市が参加。(仙台市・さいたま市・横浜市・道子市・松本市・金沢市・福井市・豊橋市・大阪市・京都市・高松市・部覇市)
2018	2, 776	計54カ国参加、モンゴル、ベルー、南アフ リカ共和国など初参加。	11市が参加。(仙台市・さいたま市・横浜市・松本市・金沢市・福井市・豊橋市・大阪市・京都市・京良市・郑覇市)
2019	3, 119	計50カ国参加、イラン、ウズベキスタン初 参加。	13市が参加。(仙台市・さいたま市・横浜市・道子市・松本市・金沢市・福井市・豊橋市・大坂市・京都市・京良市・福山市・郑覇市)
2020	2, 934	計53カ国参加。チリが初参加。	9市が参加。(構浜市・盗子市・松本市・金沢市・福井市・豊橋市・大阪市・奈良市・福山市)
2021	3, 184	過去最多。計53力国参加。	9市が参加。(木里津市・横浜市・道子市・金沢市・福井市・豊橋市・大販市・奈良市・福山市)
2022	2, 989	計51カ国参加。コスタリカ、ナイジェリア が初参加。	7市が参加。(選子市・金沢市・福井市・豊橋市・滋賀県日野町・大阪市・福山市)

## ■ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデーの枠組み



※カーフリーデージャパンは、ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデーの日本での普及、啓発活動を担当する組織です

カーフリーデージャパン

〒1114-0014 北区田端2-4-19 tel 03-6914-3404

- ヨーロッパモビリティウィーク 公式サイト http://www.mobilityweek.eu/
- ─ 一般社団法人 カーフリーデージャパン 日本公式サイト http://www.cfdjapan.org/

【最新情報はこちらから】ブログURL http://blog.goo.ne.jp/cfdjapan/

https://www.facebook.com/CarFreeDayJAPAN

※「ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデー」は商標登録です

当活動・当団体は公的支援がないため、モビリティウィーク&カーフリーデーに賛同していただける企業・団体等からの協賛金を募集しておりま





# EUROPEAN MOBILITY WEEK 16-22 SEPTEMBER

ヨーロッパ

モビリティウィーク&カーフリーデー 人と環境にやさしい街を目指して

## **European Mobility Week** & Car Free Day

ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデー

#### ▶ モビリティウィークの概要

ヨーロッパモビリティウィークは、市民と行政が一緒になって、 まちでの移動、都市交通を切り口に、環境やまちを考えようと いう啓発週間です。毎年、9/16-22に実施され、世界2000都市 近くが参加しています。

欧州委員会(交通・運輸総局)のプロジェクトで、2002年からは じまっています。それまでは、カーフリーデー (9/22) 1日の取組 みとして行われていましたが、モビリティウィーク1週間に拡大 されました。しかしながら、依然として、カーフリーデーは、モ ビリティウィークの中心的イベントとして位置付けられ、最終 日に実施されています。

ヨーロッパモビリティウィークは、地方自治体が実施誓約書に サインし、自治体や参加・協賛団体が出資をしてイベントを開 催します。

ヨーロッパモビリティウィークでは、3つの主要な移動一公共 交通、自転車、徒歩をはじめとし、関連付けられる都市活動を1 週間の活動トピックとし、毎年決められるテーマに従い、日替 わりで、これらのキャンペーンを実施します。この数年は、自転 車の利用促進が各都市の重要なテーマとなっています。

ヨーロッパモビリティウィークは、この活動を通じ、持続可能な 都市交通・まちづくりに向けた、①市民への啓発と②自治体 の政策推進の双方を目指しています。啓発にとどまらず、これ を機にハード・ソフトともに自治体の政策展開まで行われて いる点が特徴で、持続可能な都市交通の政策推進にむけた 有効な手立てとして活用されています。

#### > 実施内容

ねらい

大気汚染の問題を認識する 公共交通を推進し強化する 人や自転車の空間を優先する 地域の資産を再認識する

- 持続可能な都市交通におけるイニシアティブを発揮する。
- ・現在の都市内での移動方法が与えた環境や生活の質についてのマ イナスの影響を市民に理解させる
- ・地域住民、組織、商店街、企業等と協力関係を構築する
- ・ヨーロッパおよび世界の様々なまちや都市と共通の目標およびアイ デンティティを共有するための幅広いキャンペーンを行う
- 持続可能な都市交通に対する自治体の関与を強調する
- ・新しい交通政策・恒常的な施策に着手する

モビリティウィーク1週間(7日間)の活動トピック

- 1 公共交通・自転車・徒歩
- モビリティマネジメント
- 賢い車の利用
- 賢く持続可能な余暇と買い物、地域経済を 活性化するような移動手段
- 買い物(日常の買い物、商店街・商業者)
- 7 緑の道(自転車や徒歩などに移動手段を限定 した環境や人にやさしいみちのこと)

#### ▶ カーフリーデー (9/22) の概要 モビリティウィークの中心的イベント

~車をおいて街へ出よう!~

カーフリーデーは、毎年、9/22に行われるヨーロッパモビリティウィークの中心的なイベントです。 車を切り口に、都市、地球環境、都市文化を考えようというもので、一日、**くるまのない都市空間(道路空間)**を まちの中心部に創出します。

そこでは、車から解放された都市環境の変化(騒音、大気、にぎわいなど)を市民ひとりひとりが体験します。そう することで、街では車に頼らなくても日常生活には支障がないことを実感することができます。

1997年からはじまった、ラ・ロッシェル(仏)での「車のない日」が発端となっています。その翌年には、フランス環 境省のイベント、2000年からは、欧州委員会のプロジェクトとなり、現在に至ります。

#### ▶実施内容

カーフリーデーでは、普段は車に占拠 されている都心部の特定地区内を、朝 から夕方まで、マイカーの進入を規制 して、一日、自転車、公共交通と共に、 専ら歩行者専用の都市空間を創り出 します。

マイカーに頼らなくても、地域住民が その影響を制約されることおなく、都 市内を楽しむことができるということ に気づいてもらうため、公共交通の増 便(運賃は通常より割引もしくは無料) や、シャトル便で連絡させる駐車場の 確保、相乗りの促進、レンタル自転車 などが設置されます。

様々な団体が参加して、環境やまちづ くりについて考えるキャンペーンや展 示会なども行われ、新しい交通施策の 導入の場ともなっています。





P&R(無料のシャトルバス). チェックポイント 近くの駐車場 (P) 住民の駐車場 ■ 駐輪場 ● レンタサイクルの貸出場所 福祉車両駐車場 誘導・指示ゾーン カーフリーゾーン

カーフリーデー発祥の地 ラ・ロッシェル

1997年9月9日、フランスのラ・ロッシェルで、「車のない日」の社会実験が行われました。 ラ・ロッシェルは、大西洋岸に位置する都市圏人口135,000人の港湾都市で、古くから貿 易の拠点、芸術・文化のまちとして栄えています。

その一方で、環境の観点から、様々な都市交通政策を展開し、15年前から電気自動車の 普及にも熱心な環境都市のパイオニアとして広く知られています。ラ・ロッシェルにおけ る社会実験の成功がきっかけで、翌年にはフランスの環境省のイベントとして、さらに 2000年からはEUのプロジェクトとして毎年9月22日に「街では車を使わない日」が実施 されることになりました。2002年からは、モビリティウィークの中心的イベントとして、現 在に至っています。

## ▶海外での取り組み

2002年の実施以来、ヨーロッパモビリティウィークの影響は、ヨーロッパを超え、世界中で確固たるものに なっています。

2022年は、2,989都市が参加し、そのうち、992都市で13,490に及ぶ都市交通についての恒常的施策がこれ を機に導入されました。その主なものは、モビリティマネジメント、アクセシビリティ、自転車環境の整備、 改善でした。

#### European Mobility Week Award

## ヨーロッパモビリティウィークアワード2022 ブラガ市 (ポルトガル) 受賞!

大学、地元企業、住民と一緒に行った「持続可能なモビリティへの意識啓発」に非常に貢献したことで表彰 されました。期間中は、100以上の企業と協力して、歩行者専用道路とし、緑地スペースを創出しました。ま た、「モビリティ・サファリ」を開催し、30社が参加しました。脱炭素化の重要性と、それにむけた持続可能な

モビリティの効果を説明しました。体操やサイクリ ングなど、全世代にむけたアクティブなモビリティ 活動が行われ、持続可能なモビリティのメリットを 意識してもらいました。また、ブラガ市では、モビリ ティウィーク中に、自転車シェアサービスを開始し ました。



## ▶国内での取り組み

前日の様子

日本では、2004年から参加をはじめました。横浜市・松本市・名古屋市の3都市からスタートしましたが、今で は毎年10都市以上が参加しています。市民ひとりひとりに、自動車に過度に依存した都市生活がもたらした 問題を認識してもらい、個人の交通行動を変えていくための意識喚起が重要と考えています。公共交通の重 要性をアピールし、街では車よりも、人・自転車・公共交通の優先の実現を目指しています。持続可能な都市 交通政策の展開にむけて、また、日本でも深刻化する中心市街地への対応策としても、車と地球環境・都市 生活のありかたを考えていきます。

なお、自治体主催が原則ですが、国内では、例外的に民間団体主催も認めております。

2022年は全国7市が参加しました!

## 逗子市・金沢市・福井市・豊橋市・滋賀県日野町・大阪市・福山市

※2022年度も新型コロナの影響を受け、各都市、取組を縮小、中止としたため、賞は開催せず

#### モビリティウィーク&カーフリーデー日本アワード2019

まちづくり貢献賞 市民向けアピール賞

モビリティウィーク&カーフリーデーなら実行委員会 イベント・プロジェクト賞 さいたまカーフリーデー実行委員会

カーフリーデーふくい実行委員会





カーフリーデーベストショット賞受賞作品